

令和6年度

医療倫理学分野 年報

(2024.4 ~ 2025.3)

2025 年 3 月

東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻
医療倫理学分野

目 次

1. 研究業績	1
(1) 原著論文	
(2) 総説・短報・一般	
(3) 著書	
(4) 学会・研究会等	
2. 研究活動	7
(1) 研究会	
(2) 研究プロジェクト	
3. 教育活動	9
(1) 学部講義	
(2) 学部実習・演習	
(3) 大学院講義	
(4) 卒業論文	
(5) 課題研究	
(6) 博士論文	
(7) 他大学等の講義	
(8) 講演等	
4. 海外出張	19
5. 学会における活動	20
6. 社会的活動	21

教室員名簿

1. 研究業績

(1) 原著論文

Oikawa M, Takimoto Y. Public perspectives on consent for and governance of biobanking in Japan. *J Empir Res Hum Res Ethics*. 2024; 19(4-5):208-219. doi:10.1177/15562646241286143 [peer reviewed]

Qian Y, Takimoto Y, Yasumura A. Cross-cultural differences in prefrontal cortex activity in moral judgment: A functional near-infrared spectroscopy (fNIRS) study based on the CNI model. *Behav Brain Res*. 8 May 2024; 465:114891. doi:10.1016/j.bbr.2024.114891 [peer reviewed]

Tachibana K, Nakazawa E. The consciousness of virtue: uncovering the gaps between educational specialists and the general public in their understanding of virtue in Japan. *Front Psychol*. 2024; 14:1171247. doi:10.3389/fpsyg.2023.1171247 [peer reviewed]

Takimoto Y, Nabeshima T. The gap in attitudes toward withholding and withdrawing life-sustaining treatment between Japanese physicians and citizens. *AJOB Empir Bioeth*. 2024; 15(4):301-311. doi:10.1080/23294515.2024.2336907 [peer reviewed]

Takimoto Y, Nabeshima T. Disparity in attitudes regarding assisted dying among physicians and the general public in Japan. *BMC Med Ethics*. 2025 Jan 20; 26:7. doi:10.1186/s12910-025-01166-9 [peer reviewed]

Takimoto Y, Udagawa M. Development and evaluation of remote supervision in clinical ethics consultation training. *Clin Ethics*. 2024; 19(3):252-261. doi:10.1177/14777509221144568 [peer reviewed]

Yamamoto K, Ibuki T, Nakazawa E. The fine balance between complete data integrity in medical adaptive machine learning systems and the protection of research participants. *Am J Bioeth.* 2024; 24(10):101–103. doi:10.1080/15265161.2024.2388739 [peer reviewed]

Yano K, Yasumura A, Takimoto Y. Protocol for returning results in brain science research targeting individuals with neurodevelopmental disorders in Japan. *Neuroethics.* 2025; 18:14. doi:10.1007/s12152-025-09587-4 [peer reviewed]

錢雅純, 安村明, 瀧本禎之. 倫理レポート：国際動向の把握：中国の研究倫理指針について. 人と社会と脳科学のための知的ネットワーク. 2024.10.21. https://neuro-elsi.jp/template-web/wp-content/uploads/Report_Qian_2024_EthicalGuidelines.pdf

鶴田想人, 村瀬泰菜, 岡本隣, 瀧本禎之. 倫理レポート：「有徳な無知」の概念から脳神経科学を考える. 人と社会と脳科学のための知的ネットワーク. 2024.10.31. https://neuro-elsi.jp/template-web/wp-content/uploads/Report_tsuruta_etal_2024_virtuous_ignorance-revised_2025.1.28.pdf

中澤栄輔. AI と医療倫理. 腎と透析. 2024; 97(4):547–551.

山本三希子, 李廷秀, 佐々木美奈子, 森克美. 3 歳児の親の育児困難感・発達で気になることと 5 歳児での神経発達症疑いとの関連. 小児保健研究. 2024;83(6):343-352. [査読あり]

和田慈, 瀧本禎之. 倫理レポート：脳科学技術のテクノロジー・アセスメント—予防原則から何が言えるか. 人と社会と脳科学のための知的ネットワーク. 2024.10.1. https://neuro-elsi.jp/template-web/wp-content/uploads/Report_wada_2024_precautionary_principle-.pdf

(2) 総説・短報・一般

Ino H, Takimoto Y, Nakazawa E. [Correspondence] Misinformation targeting replicon vaccine recipients: an urgent public health ethical issue. Lancet. 2024 Nov 16;404(10466):1922-1923.

(3) 著書

Alternative virtues: Japanese perspectives on Christian and Confucian traditions and education

Koji Tachibana (ed).

Routledge, 2024.

pp.122-138. Nakazawa E. Jin (Benevolence): End-of-life care in Japanese clinical settings.

脳科学に係るエンハンスメント研究のための倫理ガイド

(<https://neuro-elsi.jp/archive/guide/>)

瀧本禎之 監修, 吉田修馬 編, 宇田川誠, 栗林寛幸, 永石尚也, 安村明, 吉田修馬, 和田慈 著.

国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)脳神経科学統合プログラム 精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト. 脳科学研究の社会実装および倫理的課題の探索のための知的ネットワークの構築(研究代表者: 瀧本禎之), 2025年1月.

ケイパビリティ・アプローチとは何か: 生活の豊かさを測る

マーサ・ヌスバウム 著, 栗林寛幸, 池本幸生 訳.

勁草書房, 2025年2月.

集团的選択と社会厚生(拡大新版)

アマルティア・セン 著, 鈴木興太郎, 蓼沼宏一, 後藤玲子 監訳, 栗林寛幸, 坂本徳仁, 宮城島要 訳.

勁草書房, 2025年2月.

(4) 学会・研究会等

○ 自在ホンヤク機研究開発 第 1 回 ELSI 検討会 (宮城県仙台市) 2024 年 3 月 16 日

・ 医療倫理と公衆衛生倫理

中澤 栄輔.

○ 第 6 回日本在宅医療連合学会大会 (千葉県千葉市) 2024 年 7 月 20～21 日

・ 生命・医療倫理学における自律性の概念 (オンデマンド配信・教育講演 1: 自律とは)

中澤 栄輔.

○ 生存学研究所自主研究「全体として人を見る/診る/看ること」研究会 (オンライン開催) 2024 年 7 月 30 日

・ 公衆衛生の倫理と自律

中澤 栄輔.

○ Uehiro Young Researchers Program in Japan (Kyoto, Japan) 25-27 September 2024.

・ Preventive effects of social resource introduction on readmission and the impact of informal coercion in acute schizophrenia

Hiroyasu Ino.

○ 第 32 回消化器関連学会週間 JDDW2024 (兵庫県神戸市) 2024 年 10 月 31 日～11 月 3 日

・ AI の生命・医療倫理 (第 24 回医療セミナー「生成 AI で変わる診療・研究・教育」)

中澤 栄輔.

○第 34 回日本呼吸ケアリハビリテーション学会学術集会（愛知県名古屋市）2024 年
11 月 15～16 日

- ・ 臨床倫理推論の枠組み（共同企画 7 非がん性呼吸器疾患の緩和ケア）
瀧本 禎之.

○第 37 回日本総合病院精神医学総会（熊本県熊本市）2024 年 11 月 29～30 日

- ・ ワークショップ 1：臨床倫理と向き合う～周産期メンタルヘルスの現場から
瀧本 禎之.

○生理学研究所研究会 脳神経倫理研究会（第二期）（愛知県岡崎市）2025 年 1 月 24 日

- ・ AMED 脳統合研究・実用化支援倫理支援班：脳神経倫理に関する支援と研究開発
中澤 栄輔.

○第 38 回生命・医療倫理研究会（東京都中央区）2025 年 2 月 1 日

- ・ CBEL という理念
中澤 栄輔.

2. 研究活動

(1) 研究会

I. 教室全体の研究会

4月10日(水)	駱 芳	Self Introduction
4月24日(水)	西山 佳織 (M4)	エレクトラ成果報告：日本における IVF 多胎妊娠の現状と法制化の方向性について
5月22日(水)	稲生 宏泰	博士論文進捗報告
7月10日(水)	勝碯 静香	学会発表予行
8月28日(水)	飯島 大地	セミナー発表予行：ヒト生殖細胞系列へのゲノム編集は胚の数的同一性を変化させるか？
8月28日(水)	中澤 栄輔	教室主任就任にあたって：研究・教育・教室運営 – これまで と これから
1月20日(月)	稲生 宏泰	博論審査会予行
2月 5日(水)	石山 和輝 (M1)	FQ 成果報告：みちのく記念病院での殺人事件の発生原因と予防策
2月 5日(水)	坂内 元 (M1)	FQ 成果報告：日本での自殺幫助合法化についての検討
3月 5日(水)	川崎 正勝 (M1)	FQ 成果報告：BMI の倫理
3月 5日(水)	小山 優騎 (M1)	FQ 成果報告：「人間」とその他の境界
3月10日(月)	新井 奈々	自己紹介（これまで＋これから）

(2) 研究プロジェクト (助成分)

日本医療研究開発機構・脳とこころの研究推進プログラム（精神・神経疾患メカニズム解明プロジェクト）『脳科学研究の社会実装および倫理的課題の探索のための知的ネットワークの構築』

研究代表者： 瀧本 禎之.

研究開発分担者： 安村 明, 永石 尚也, 吉田 修馬, 島内 明文.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)『臨床倫理的問題の判断メカニズムの解明および倫理理論構築と新アプローチ法の確立』

研究代表者： 瀧本 禎之.

科学技術振興機構 RISTEX・科学技術の ELSI への包括的实践プログラム (RInCA) プロジェクト『ヒト脳変化の未来に向けた実験倫理的 ELSI 研究方法論の開発』

研究代表者： 太田 紘史.

研究分担者： 中澤 栄輔, 森 克美.

日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)『健康危機における資源配分および保健医療・福祉サービス水準の調整に関する研究』

研究代表者： 富尾 淳.

研究分担者： 中澤 栄輔.

3. 教育活動

(1) 学部講義

○生命・医療倫理 I（健康総合科学科 2 年）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、医療倫理学の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

本講義は、将来に臨床や医療政策に携わる人にとって有益であるのはもちろんだが、それ以外の人にとっても、いろいろな立場の人との議論を通じて、自分の倫理的思考を見つめ直すよい機会となる。

11 月 29 日	ガイダンス／倫理の基礎	中澤 栄輔
12 月 6 日	倫理理論／医療倫理の四原則	中澤 栄輔
12 月 13 日	生まれるときの倫理	中澤 栄輔
12 月 20 日	人生を終えるときの倫理	中澤 栄輔
12 月 27 日	研究倫理	中澤 栄輔
1 月 10 日	公衆衛生倫理	中澤 栄輔
1 月 24 日	先端科学技術の ELSI	中澤 栄輔

○生命・医療倫理 II（健康総合科学科 3 年）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

この授業では、主に医学研究の実施に際して生じる倫理的問題を検討する。授業では、研究倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションや、資料を用いた演習も行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。

10 月 7 日	研究倫理演習（1）	中澤 栄輔
10 月14 日	研究倫理演習（2）	中澤 栄輔
10 月21 日	研究倫理演習（3）	中澤 栄輔
10 月28 日	研究倫理演習（4）	中澤 栄輔
11 月 4 日	研究倫理演習（5）	中澤 栄輔
11 月11 日	まとめ	中澤 栄輔

○健康行動の理論と科学（健康総合科学科 4 年）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

本講義では、健康行動の理論と科学と称し、主に肥満、タバコ、飲酒を例にとり、科学的側面および公衆衛生的側面から検討する。授業では、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6 月 3 日	イントロダクション	中澤 栄輔
6 月10 日		中澤 栄輔
6 月17 日		中澤 栄輔
6 月24 日	発表（1）	中澤 栄輔
7 月 1 日	発表（2）	中澤 栄輔
7 月 8 日	発表（3）	中澤 栄輔
7 月22 日	発表（4）	中澤 栄輔

○公衆衛生倫理（健康総合科学科 4 年）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

本講義では、公衆衛生に関する問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、公衆衛生倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

6 月 5 日	公衆衛生倫理概要	中澤 栄輔
6 月12 日	公衆衛生倫理演習 1	中澤 栄輔
6 月19 日	公衆衛生倫理演習 2	中澤 栄輔
6 月26 日	公衆衛生倫理演習 3	中澤 栄輔
7 月 3 日	公衆衛生倫理演習 4	中澤 栄輔
7 月10 日	公衆衛生倫理演習 5	中澤 栄輔
7 月17 日	まとめ	中澤 栄輔

○臨床倫理（健康総合科学科 4 年）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、臨床倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。

12 月 4 日	臨床倫理の基礎：臨床倫理推論	瀧本 禎之
12 月11 日	精神疾患と倫理	新井 奈々（附属病院）
12 月18 日	救急医療と倫理	今長谷 尚史（自治医大）
12 月25 日	移植医療と倫理	新井 奈々（附属病院）
1 月 8 日	終末期医療と倫理	瀧本 禎之
1 月15 日	倫理コンサルテーション	瀧本 禎之

○ 公共健康科学統合講義 II（健康総合科学科 3 年）

5 月 2 日 公衆衛生倫理学

中澤 栄輔

○ 健康総合科学概論（健康総合科学科 3 年）

11 月 20 日 生命・医療倫理学入門

中澤 栄輔

○ 医療倫理（医学科 M2）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

臨床における倫理的問題、および医学研究における倫理的問題について、医療倫理の成立過程や基礎理論を踏まえた講義を行う。

6 月 19 日 第 1 回 イントロダクション

第 2 回 医療倫理の基本

第 3 回 倫理理論と倫理原則

6 月 20 日 第 4 回 研究倫理・研究公正

第 5 回 臨床倫理と IC

○ M3 臨床統合講義（医学科 M3）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

10 月 16 日

○ 社会医学講義（医学科 M4）

中澤 栄輔，瀧本 禎之

9 月 12 日

9 月 13 日

○初年次ゼミ（理科）

中澤 栄輔, 瀧本 禎之

- 4月26日 演習1 ガイダンス
- 5月 3日 演習2 研究倫理の事件
- 5月10日 演習3 研究倫理の基礎
- 5月15日 演習4 臨床研究の種類
- 5月17日 演習5 倫理指針
- 5月24日 演習6 フォーマット
- 6月 7日 演習7 研究づくり
- 6月14日 演習8 研究づくり
- 6月21日 演習9 下読み
- 6月28日 演習10 倫理委員会
- 7月 5日 演習11 倫理委員会

（2）学部実習・演習

○公共健康科学演習Ⅱ（保健社会学教室と合同）

- | | | |
|-------|-----------|--------------|
| 4月 8日 | たばこの医学と疫学 | 橋本 英樹（保健社会学） |
| 4月15日 | 健康政策と政治理論 | 中澤 栄輔 |
| 5月 7日 | ディベートについて | 鎌田 真光（保健社会学） |
| 5月13日 | ディベート準備 | |
| 5月20日 | ディベート準備 | |
| 5月27日 | ディベート | |

(3) 大学院講義

○医療倫理学Ⅰ

4月11日	生命・医療倫理学とは 倫理的検討法	瀧本 禎之 瀧本 禎之
4月18日	倫理学の基礎 1 医療倫理の四原則	中澤 栄輔 中澤 栄輔
4月25日	倫理学の基礎 2	中澤 栄輔
5月 2日	ケアの倫理	堂園 俊彦 (静岡大学人文社会科学領域)
5月 9日	研究倫理	山本 圭一郎 (国立国際医療研究センター)
5月16日	インフォームド・コンセント／終末期医療	前田 正一 (慶應義塾大学健康マネジメント研究科)
5月23日	模擬倫理委員会	中澤 栄輔

○医療倫理学Ⅱ

6月 6日	資源配分	中澤 栄輔
6月13日	公衆衛生・政治哲学	中澤 栄輔
6月20日	公衆衛生の倫理入門	児玉 聡 (京都大学大学院文学研究科)
6月27日	親子間の世代間倫理	伊吹 友秀 (東京理科大学教養教育研究院)
7月 4日	研究者の倫理と不正 ジェンダーと生命倫理	中澤 栄輔 中澤 栄輔
7月11日	倫理コンサルテーションⅠ, Ⅱ	瀧本 禎之
7月18日	倫理コンサルテーションⅢ, Ⅳ	瀧本 禎之

○公共健康医学特論

4月22日	政治倫理と公衆衛生	中澤 栄輔
-------	-----------	-------

(4) 卒業論文

(該当なし)

(5) 課題研究

(該当なし)

(6) 博士論文

急性期統合失調スペクトラム症における社会資源の導入による再入院の予防効果と非形式的強制の影響 (Preventive effects of social resource introduction on readmission and the impact of informal coercion in acute schizophrenia)

稲生 宏泰 (指導教員: 中澤 栄輔)

(7) 他大学等の講義

中澤 栄輔

神田外語大学

『自然科学概論 I』

2024 年度夏学期

『自然科学概論 II』

2024 年度冬学期

帝京大学大学院公衆衛生学研究科

『医療倫理学』

5 月 8 日, 15 日

東邦大学医学部医学科

『全人の医療人教育 II「倫理」』

4 月 26 日

玉川大学大学院脳科学研究科

『研究者倫理』

8 月 1 日, 2 日

静岡社会医学大学院大学

『社会健康医学概論』

6 月 22 日, 29 日

東京医療保健大学

『キャリア教育 II』

4 月, 5 月

瀧本 禎之

帝京大学 SPH

『公衆衛生倫理学』

4 月 17 日, 12 月 14 日

東邦大学医学部

『生命倫理学』

4 月 26 日, 1 月 9 日

和田 慈

武蔵野大学教養教育部

『日本語リテラシー』

2024 年度通年

昭和女子大学全学共通教育センター

『哲学 A/B』

2024 年度通年

『論理学 A/B』

昭和女子大学現代教養学部

『哲学◎』

2024 年度夏学期

森 克美

東京医療保健大学大学院

『研究クリティークⅡ』

2024 年度通年

『統計学概要（研究方法特論Ⅱ）』

6 月 29 日

『研究方法特論Ⅲ』

7 月 20 日，27 日，

8 月 3 日，10 日

『応用データ分析概論』

8 月 26 日，31 日

9 月 7 日，14 日

(8) 講演等

中澤 栄輔

2024 年応用脳科学アカデミーベーシックコース 3「ELSI」第 1 回 2024 年 7 月 12 日

『脳科学分野における ELSI』

東京家政学院大学令和 6 年度第 1 回 FD 講演会 2024 年 9 月 12 日

『人を対象とした研究の倫理—基本的な考え方と陥りやすいピットフォール』

武蔵野大学 FD 講演会 2025 年 1 月 8 日

『ソーシャル・イノベーションと研究倫理』

自然科学研究機構生命倫理審査委員会「人を対象とする生命科学・医学系研究に係る倫理講演会」 2025 年 1 月 23 日

『研究倫理に関する基礎と最近の話題』

瀧本 禎之

東邦大学医療センター佐倉病院 2024 年 11 月 16 日

『臨床倫理をシンプルに考える』

埼玉県立がんセンター 2025 年 2 月 13 日

『身体拘束を考える』

高知大学医学部附属病院 2025 年 2 月 21 日

『臨床倫理講習会』

4. 海外出張

(該当なし)

5. 学会における活動

中澤 栄輔

日本生命倫理学会 理事，事務局長

日本うつ病学会 ニューロモジュレーション委員会 委員

日本糖尿病学会 学術調査研究等倫理審査委員会 委員

日本看護科学学会 研究倫理審査委員会 委員，利益相反委員会 委員

瀧本 禎之

日本生命倫理学会 理事

日本サイコオンコロジー学会 理事

日本心身医学会 評議員

日本心療内科学会 代議員

日本摂食障害学会 評議員

6. 社会的活動

中澤 栄輔

量子科学研究機構研究倫理審査委員会 委員

国立精神・神経医療研究センター臨床試験審査委員会 外部委員

千葉大学医学部生命倫理審査委員会 委員

国立国際医療研究センター倫理委員会 委員

信州大学医学部医倫理委員会 委員

慶應義塾研究倫理委員会研究倫理審査委員会 委員

虎の門病院利益相反委員会 委員

玉川大学動物実験審査委員会 委員

東京家政学院大学研究倫理審査委員会 委員

重粒子線治療多施設共同臨床研究組織（J-CROS）監査委員会 委員

令和6年度 東京大学大学院医学系研究科
医療倫理学分野 教室員

教授	中澤 栄輔 (8月1日～)	客員研究員	新井 奈々 宇田川 誠 島内 明文
准教授	瀧本 禎之		高橋しづこ 永石 尚也
講師	中澤 栄輔 (～7月31日)		林 令奈 三羽恵梨子
非常勤講師	伊吹 友秀 今長谷尚史 児玉 聡 高島 響子 立花 幸司 堂園 俊彦 長井 裕之 林 芳紀 前田 正一 山本圭一郎	技術専門員 事務補佐員 大学院生（博士課程） 大学院生（SPH）	森 克美 宮崎いづみ (5月1日～) 稲生 宏泰 恩田 優子 飯島 大地
特任研究員	栗林 寛幸 和田 慈	特別研究学生 外国人研究生	勝碯 静香 駱 芳
